

5月16日～31日の国内外外国為替市場動向

	為替市況	主要経済指標など	主要発言など	為替レート		
				ドル円	ユーロ円	24H
07/05/16 (水)	東京は米債利金売りの噂から円買い優勢となるもECB理事の発言を受け流れは徐々にユーロ高へ。欧米は発表された米経済指標は強めのものが少なかったがG8をにらんだ調整の動きから円小高い。	・3月鉱工業生産速報0.3% ・4月の米住宅着工件数152.8万戸、同建設許可142.9万戸、同鉱工業生産0.7%、同設備稼働率81.6% ・一部報道「IMFが金400トンを売却へ」	・クオ・デーンECB理事「ユーロの強さは不自然ではない」 ・英中銀総裁「必要に応じてさらなる行動を取る」 ・カナダ財務省高官「G8声明は為替に言及する見通し」	120.23 120.84 120.18 120.82	163.40 163.90 163.12 163.30	24H 寄付 安値 高値 終値
07/05/17 (木)	東京はGDPの悪化や日銀利上げ見送りから一時円安進行。しかし福井発言で下げ止まりの様相見せる。欧米は前日に続き発表された米経済指標は良好でドルの買い材料に。結果円は独歩安の様相。	・第1四半期GDP速報値0.6% ・韓国中銀がウオン高抑制のため市場介入動意 ・4月の米景気先行指数 0.5%、5月のFF連銀製造業指数4.2 ・日銀が金利の据え置き決定	・日銀総裁「CPIがマイナスでも利上げはありうる」 ・ルクセンブルグ首相「さらなるユーロ高はファンダメンタルズに合致するか問題」 ・米政府関係者「米超党派議員が中国の為替慣行で調査求める方針」	120.80 121.37 120.77 121.30	163.36 163.83 163.33 163.70	24H 寄付 安値 高値 終値
07/05/18 (金)	東京はG8に対する警戒感などもあるなか円が小安い。ただドル/円は121円半ばのバリアを超えられず。欧米は人民元切り上げ幅拡大を受けて一時円買い優勢。しかし日独財務相会談結果から行って来い。	・3月景気先行指数36.4% ・中国人民銀行が対ドルの変動幅を0.5%に拡大、ならびに預金準備率の0.5%引き上げを発表 ・5月のミシガン消費者信頼感指数速報値88.7	・シューマー-米上院議員「中国は変動幅拡大を使い、さらなる人民元上昇の容認を」 ・尾身財務相「日独財務相会談で為替を協議、しかしシリアスな話にはならず」	121.29 121.39 120.69 121.12	163.69 163.89 162.61 163.61	24H 寄付 安値 高値 終値
07/05/21 (月)	東京は前週末の中国利上げの影響が懸念されたがとくに影響なし。G8の結果もあり円売り優勢の展開。欧米は目立った材料ないなか円は売られ易い雰囲気。株式市場の動向にらみつつ円売り優勢。	・G8声明で特別な為替の言及なし(19日) ・独連銀月報「ユーロ圏のインフレリスク高まる」	・アルムニア欧州委員「人民元の変動幅拡大を歓迎、更なる拡大が必要」 ・バルデマースECB副総裁「物価安定を確実なものにするためECBは適切に行動する用意がある」	121.16 121.63 121.11 121.47	163.81 163.94 163.25 163.61	24H 寄付 安値 高値 終値
07/05/22 (火)	東京は水野発言で早期利上げが示唆されたうえ、米中戦略対話への警戒感からやや円買い優勢。欧米は揉み合いで方向性乏しい。材料や発言などもそれなりにあったがどれも決定打に欠けた。	・4/9-10日分日銀会合要旨 ・5月の独ZEW景気期待指数24.0 ・5月月例経済報告で景気判断据え置き ・米中戦略協議(～23日) ・5月のリッチモンド連銀景気指数 10	・水野日銀理事「追加利上げのタイミング、展望レポートの中間評価はひとつの区切り」 ・ルクセンブルク中銀総裁「ECBは物価安定性を注意深く監視」	121.47 121.60 121.20 121.57	163.54 163.62 163.25 163.49	24H 寄付 安値 高値 終値
07/05/23 (水)	東京は新規動意の乏しいなか、月末をにらんだ外貨建て投信の設定など需給要因からドル小じっかり。欧米も主要通貨は小動き。ただポンドが強含みでユーロ/円も連れ高となり初めての164円台を示現した。	・5/9-10BOE議事録要旨で追加利上げに肯定的な内容含まれる ・吳中国副首相と米大統領が会談	・周中国人民銀総裁「人民元の柔軟性、引き続き緩やかに拡大していく」 ・米財務長官「人民元の上昇速度は十分ではない」 ・前FRB議長「中国株、劇的な調整はいる可能性」	121.70 121.88 121.31 121.65	163.70 164.02 163.38 163.74	24H 寄付 安値 高値 終値
07/05/24 (木)	東京は株価にらみでの展開。前FRB議長の発言どおり上海株が下落したことで円買い優勢ムード。欧米は対ユーロでドルが堅調裡、IFO指数が悪化した反面、米住宅指標が良好でドル買い・ユーロ売りへ。	・4月貿易黒字9267億円 ・第1四半期独GDP確定値0.5% ・5月の独IFO景気指数108.6 ・OECDが半期経済見通し発表 ・4月の米耐久財受注0.6%、同新規住宅販売件数98.1万戸	・米大統領「中国に対し人民元高の容認や牛肉などの市場開放を要」 ・米著名情報社が「ECBは利上げに慎重」とのレポート送信の噂	121.56 121.68 121.24 121.40	163.56 163.68 162.85 163.03	24H 寄付 安値 高値 終値
07/05/25 (金)	東京は上海株が続落したことなどもありやや円買い優勢ムード。ドル/円は一時120円台へ。欧米は北朝鮮ファクターを材料に流れが一変し円は独歩安。米住宅指標は悪化するもドルは高値引け。	・5月の全国消費者物価0.0%、コア指数 0.1% ・北朝鮮が日本海に向けてミサイルを発射 ・4月の米中古住宅販売599万戸	・安部首相「北朝鮮の動きは日本の安全保障にとって重大な問題と認識していない」	121.30 121.89 120.85 121.78	162.84 163.78 162.20 163.70	24H 寄付 安値 高値 終値
07/05/28 (月)	英米市場が先週土日から三連休となることもあり、東京も売買手控えムード。ドル/円はボックス相場。欧米も目立った動きなく膠着の様相。クリスマス並の展開でほとんど開店休業状態。	・インド中銀がドル買い介入を実施した、との噂あり ・ロンドンとNY市場が休場	・スウェーデン中銀総裁「金利引き上げのペースが加速する見通し」	121.78 121.79 121.62 121.72	163.76 163.76 163.61 163.75	24H 寄付 安値 高値 終値
07/05/29 (火)	東京は発表された失業率が予想外の好数字となったことで日銀による早期利上げ観測台頭、円小高い。欧米はドル高、円高、強い米経済指標でドル買い優勢。一方、中国情勢から円も対ドル以外でしっかり。	・4月失業率3.8% ・カナダが政策金利の据え置き発表、ただ声明は「短期的に利上げが必要となる可能性」とカ派 ・5月の米消費者信頼感指数108	・伊政府筋「仏大統領と伊首相はユーロ高問題について話し合った」 ・露財務相「6月サミットで為替に関する議論はない見通し」 ・中国財務省が株取引の印紙税率を0.1%から0.3%へ引き上げ	121.66 121.82 121.18 121.67	163.66 164.29 162.95 163.62	24H 寄付 安値 高値 終値
07/05/30 (水)	東京は前日決定した印紙税引き上げの影響を受けた上海株注視。しかし当の株価は堅調で円安要因。欧米は発表された米雇用指標が悪かったことでドル売り要因に。しかし株価は逆に強く、ドルも下げ引け。	・4月鉱工業生産 0.1% ・ルウェー-中銀が利上げ実施 ・5月ADP全米雇用報告9.7万人 ・5/9FOMC議事録「インフレは引き続き主要な懸念要因」	・伊首相「独G8でユーロ高が課題となる可能性は否定できない」 ・ルクセンブルグ首相「現在の対ドルでのユーロ安傾向に満足」	121.60 121.77 121.29 121.66	163.59 163.67 162.95 163.39	24H 寄付 安値 高値 終値
07/05/31 (木)	東京は日本と中国の株価をにらみ一喜一憂の展開。ただ値幅自体はそれほど大きくなくレンジ内。欧米は弱強混在の米経済指標を受	・5月の独失業率9.2% ・第1四半期の米GDP改定値0.6%、同個人消費改定値4.4%、同コアPCE改定値2.2%、5月シカゴ購買部協会指	・西村日銀審議委員「CPIは今年度後半からしっかりした上昇を示す」 ・スノ-米報道官「米財務次官にマコーミック大統領補佐官を指名」	121.56 121.98 121.46	163.30 163.96 163.03	24H 寄付 安値 高値

けて右往左往。ただ122円はOP絡みのオア-厚く抜け切れず。	数61.7、4月建設支出0.1%	121.73	163.76	終値
--------------------------------	------------------	--------	--------	----

* 製作・著作;「FXニュースレター」

URL; <http://www.fx-newsletter.com/>

FX-newsletter

FX-newsletter